

# TOPPAN



# TOPPAN STORY

Vol.  
103

トッパン・ストーリー

**第179期 株主通信** (2024年4月1日から2024年9月30日まで)

## CONTENTS

連結財務ハイライト	2
株主の皆さまへ	3
特集	4
TOPPAN Group 6months	6

セグメント別概況	8
株式情報・会社概要	10
株主メモ・Information	11

# 連結財務ハイライト

## 1株当たり株主配当金 〔中間〕

# 24円

(年間48円予定)

中間配当金につきましては、1株当たり24円とし、年間では48円の配当を予定しています。

詳細は、IR情報ウェブサイトをご覧ください。



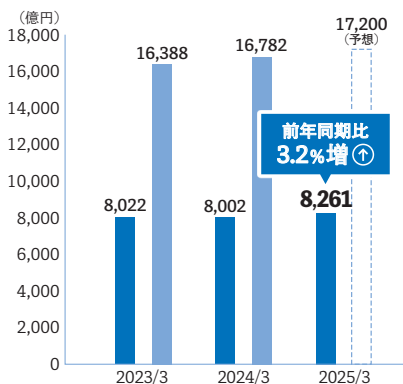
<https://www.holdings.toppan.com/ja/ir/>

■ 中間期 ■ 通期

### ■ 売上高

# 8,261

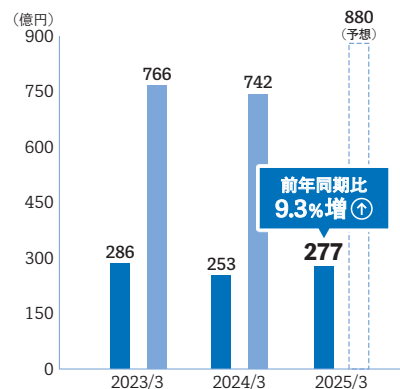
億円



### ■ 営業利益

# 277

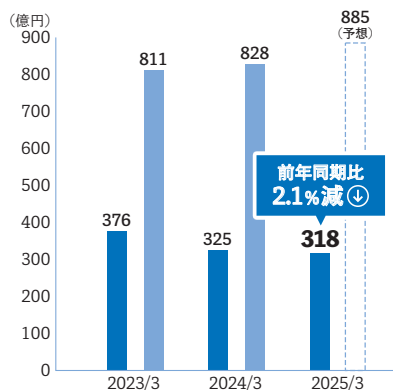
億円



### ■ 経常利益

# 318

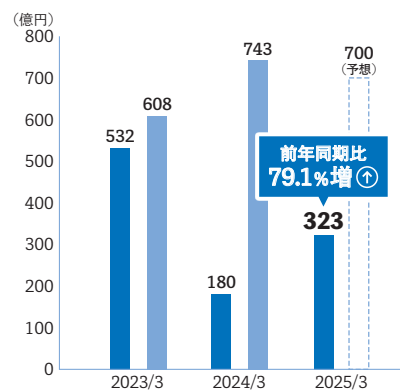
億円



### ■ 親会社株主に帰属する 当期純利益

# 323

億円



※ 2024年11月13日に公表しました2025年3月期通期連結業績予想を修正しました。

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第179期中間連結会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）のTOPPANグループの業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、物価高が個人消費に影響を与えたものの、インバウンド需要の増加もあり、緩やかな回復基調となりました。一方で、世界的な高い金利水準継続の影響や急激な為替変動に加え、地政学リスクの高まりによる海外経済の不確実性など、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、ペーパーメディアの需要は減少傾向にある一方、デジタルマーケティングや金融・行政手続きのオンライン化などのデジタル分野、世界的なサステナブル意識の高まりを背景としたパッケージなどの環境分野、またAI・IoTなどの拡大を背景とした半導体分野における市場機会の拡大が見込まれています。

このような環境の中で当社グループは、「Digital & Sustainable Transformation」をキーコンセプトに、社会やお客様、TOPPANグループのビジネスを、デジタルを起点として変革させる「DX(Digital Transformation)」と、事業を通じた社会的課題の解決と持続可能性を重視した経営をめざす「SX(Sustainable Transformation)」を柱に、ワールドワイドで事業を展開しています。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前期比3.2%増の8,261億円、営業利益は9.3%増の277億円

となりました。また、経常利益は2.1%増の318億円、親会社株主に帰属する当期純利益は79.1%増の323億円となりました。中間配当金は1株当たり24円とし、年間配当金は48円を予定しております。

株主の皆さまの期待には、企業価値

の向上および適正な株主還元の安定的実施によりお応えしていきます。成長領域のスケール化と構造改革を推進し、収益力を高めるとともに、適正な自己資本水準により、ROEの持続的向上を実現してまいります。ROEについては、2025年度に目標である5%を確実に達成させ、次期中期経営計画では8%以上をめざしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年12月



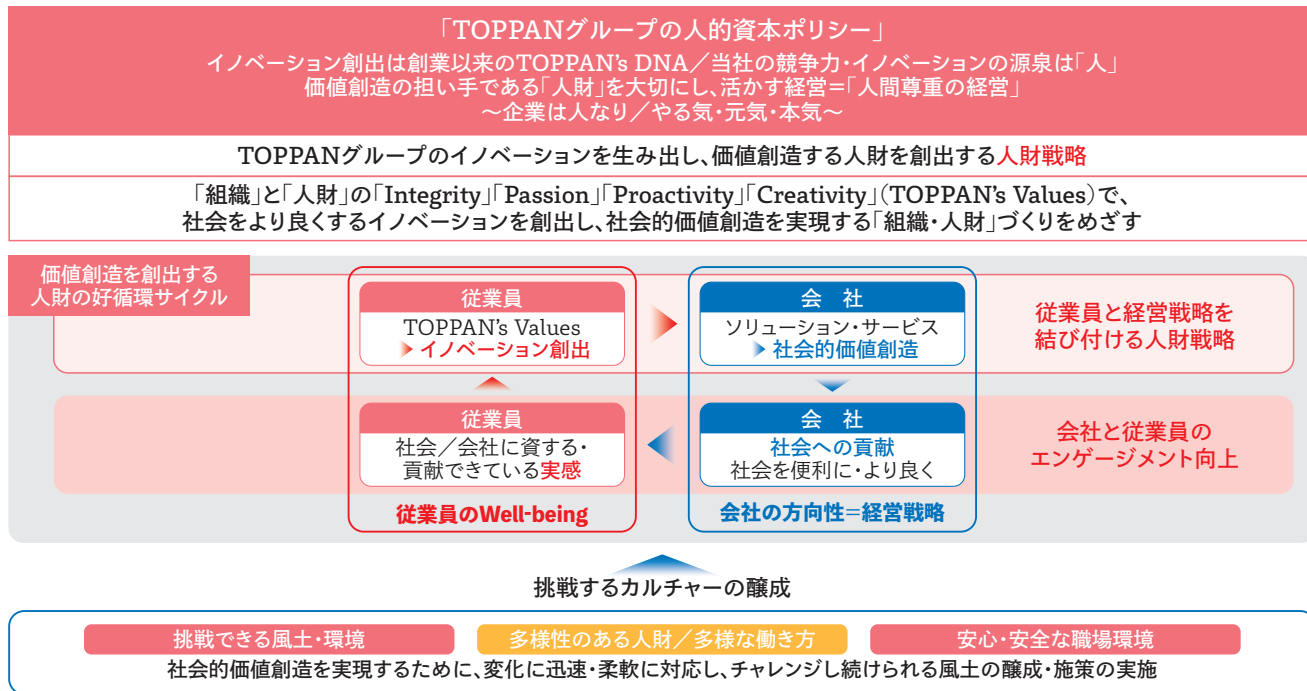
代表取締役社長 CEO

磨 秀 晴

# 成長戦略における人財戦略について

## 人財への考え方

TOPPANグループは「企業は人なり」の信念のもと、持続的成長と社会への貢献をめざし、社員と企業がともに成長できる環境・風土を整備し、社会的価値創造を実現する「組織・人財」づくりをめざしています。社員を会社の貴重な財産、すなわち「人財」と捉え、その価値を最大限に引き出すことで生まれる「人によるイノベーション」を事業成長の源泉と捉え、価値創造の担い手である人財を大切にし、活かす経営＝「人間尊重の経営」を貫いています。



## 中期経営計画における人財戦略

### 【全社方針】

「変革」と「進化」のスピードアップによる経済的・社会的価値の創出を拡大

- ① 事業ポートフォリオの変革
- ② 経営基盤の強化
- ③ ESGの取り組み深化

### 人財戦略の重点テーマ

- ① 事業と人財の連動・キャリア自立(自律)の向上
- ② 人的側面における経営基盤の強化
- ③ 多様な人財の活躍・生産性の向上

## 中期経営計画に紐付いたありたい姿と課題

### 望ましい姿(To-be)

- 採用・育成・配置転換を通じた成長事業のスケール化に必要な人財ポートフォリオの実現
- ホールディングスおよび事業会社3社における各種制度の統一、人事関連システムの統合による、グループ横断の人財最適配置・活用
- Well-being・エンゲージメント向上を通じた従業員の能力発揮最大化



### 現状の課題(As-is)

- ・新事業をスケール化する人財の不足
- ・既存事業から成長事業への人財シフトのための効果的なリスキリングの実施
- ・労働条件や制度、システムが異なり、柔軟な人財配置が困難
- ・グループでの要員管理基盤整備の必要性
- ・職場の心理的安全性のさらなる向上
- ・多様な人財が活躍できる職場環境づくり

## ギャップ解消のための取り組み

- 採用・育成・配置転換を通じた成長事業のスケール化に必要な人財ポートフォリオの実現

### 取り組み

- ・サクセッションプランに基づく経営者人財の計画的育成(経営リテラシーの習得・実践の場の提供)
- ・DX人財、SX人財、グローバル人財、新事業開発人財の育成など重点・成長事業の担い手となる人財の計画的育成
- ・採用チャンネルのマルチ化による専門人財の確保

### 2025年度中期目標の進捗状況

テーマ・取り組み	指標	2022年度実績	2023年度実績	2025年度中長期目標
【人財開発プログラムの構築】 事業ポートフォリオ変革を支える人財の確保・育成に向けた多彩な人財開発プログラムの実施	・ Erhoelt-X従事者人財数	4,300名	5,223名	6,000名
	・ 人財のグループ内流動化施策の展開	—	常設社内公募制度「ジョブチャレンジ制度」を2024年度より新設	各施策の展開
	・ 経営者人財の育成			

- ホールディングスおよび事業会社3社における各種制度の統一、人事関連システムの統合による、グループ横断の人財最適配置・活用

### 取り組み

- ・グループ共通基盤となる人事システムを導入し、人事情報管理の整備、経営に資するタレントマネジメントの実現
- ・人財の最適配置に向け、各社員が保有する技術スキルなどのみでなく、重点・成長事業に必要なスキル・マインド・経験などを幅広く可視化(スキル調査、お仕事図鑑の運用)
- ・ジョブチャレンジ制度(常設型社内公募制度)による能力・スキル・意欲と合致した最適な人財配置を実現

- Well-being・エンゲージメント向上を通じた従業員の能力発揮最大化

### 取り組み

- ・TOPPAN's Purposeの理解の浸透を通じ、自社提供価値の再認識、社会価値創造への貢献・寄与に対する実感の向上
- ・ジョブチャレンジ制度、社外副業・兼業制度、アルムナイ制度などを通じたキャリア自律感の向上
- ・FFS理論を活用した1on1の実践、マネジメントにおける360度評価の導入などを通じたマネジメントの質向上と社内での自己効力感の向上

2024  
4 → 9月

- 4月 1日 TOPPAN、SNS広告とEC支援を行うココラブルを買収、完全子会社化  
顧客の事業成長に寄与する「グロース支援型」のデジタルマーケティング事業を強化
- 4月 19日 TOPPAN、透過加飾技術を活用した  
デジタルサイネージ「ダブルビュー®サイネージ」を販売開始 [1](#)
- 4月 22日 TOPPAN、機能性を維持したポリオレフィン単一構成の液体向けパウチを新開発 [ESG](#)
- 5月 9日 **TOPPAN Gravity、エチオピアのパスポート製造発行工場をエチオピア政府との合併で新設**
- 5月 10日 TOPPANとTOPPANエッジ、スマート点検支援サービス「e-Platch™」に  
水・薬品・油漏れを遠隔で検知する漏液センサーをラインアップ
- 5月 21日 図書印刷、「TOPPANクロレ株式会社」に社名を変更
- 5月 28日 TOPPANホールディングス、  
「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)2024」の「DX注目企業」に選定 [2](#)
- 5月 30日 おかぴファーマシー、電子カルテシステムと連携した処方せん薬宅配サービスの提供を開始
- 6月 11日 **TOPPAN、世界初の単体での電気検査が可能な  
次世代半導体向けコアレス有機インターポザーを開発**
- 6月 21日 TOPPANホールディングスと東洋製罐、欧州での車載用リチウムイオン  
電池向け外装材製造に向け、合併会社設立に関する基本合意書を締結 [3](#)

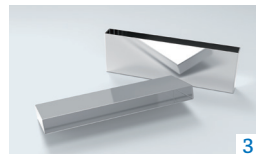


1



DX注目企業2024  
Digital Transformation

2



3

2024年5月9日発表

## TOPPAN Gravity、エチオピアのパスポート製造発行工場をエチオピア政府との合併で新設

TOPPAN Gravity Limited(本社:香港、以下 TOPPAN Gravity)とエチオピア政府との合併会社である TOPPAN GRAVITY ETHIOPIA SHARE COMPANY(本社:エチオピア、以下 TOPPAN Gravity Ethiopia)は、5月8日にエチオピアのアジスアババで、パスポートの製造発行を行う新工場の起工式を開催しました。

今回新設する工場ではTOPPANグループがこれまで培ってきたセキュリティ印刷の技術、データ加工の技術、個人情報取り扱いのノウハウなどを活用し、エチオピアの公共インフラ構築に貢献します。また、現地でのオペレーションの支援も行い、エチオピアでの雇用創出にも寄与します。TOPPANグループは、引き続きアフリカ市場を中心としたグローバルサウスにおいて、政府系ID全般ソリューションを推進していきます。



ESG 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) 関連の取り組み

- 7月 2日 【国内航空会社初】TOPPANとJAL、会話の内容が目で見える「VoiceBiz® UCDisplay®」を活用した実証実験を開始
- 7月 3日 TOPPAN、「デジタル文化財ミュージアム KOISHIKAWA XROSS®」を新設
- 7月 17日 TOPPAN、医療従事者の説明業務支援サービス「DICTOR®」提供開始 4
- 7月 23日 TOPPANホールディングス、GPIFが採用する代表的ESG投資インデックス全てに選定 ESG
- 8月 7日 TOPPANホールディングス、「IT Japan Award 2024」グランプリ受賞
- 8月 26日 大阪大学大学院工学研究科とTOPPANホールディングス、新たな3D細胞培養技術により悪性度の高いがんを体外で忠実に再現
- 8月 30日 TOPPANグループの温室効果ガス排出削減目標がSBT「ネットゼロ目標」認定を新たに取得 ESG
- 9月 17日 TOPPAN、化粧シートでバイオマス化を実現 5 ESG
- 9月 30日 TOPPANデジタル、製造DXソリューション「NAVINECT®」で「工場業務診断」の提供を開始
- 9月 30日 TOPPANグループ、ステークホルダーとのエンゲージメント強化に向けて「統合レポート2024」「サステナビリティレポート2024」を発行 6 ESG



4



5



6

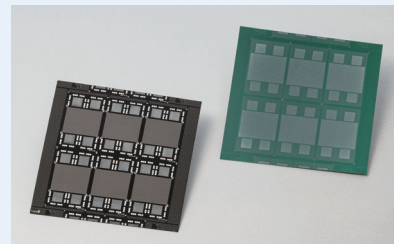
2024年6月11日発表

## 世界初の単体での電気検査が可能な次世代半導体向けコアレス有機インターポージャーを開発

TOPPAN株式会社は、半導体のヘテロジニアスインテグレーション(異種チップ集積)で課題となる、高信頼性の次世代半導体向けコアレス有機インターポージャー\*を開発しました。本製品は、シンプルなコアレス構造で、微細配線接続と低CTE(熱膨張率)の両立を図りつつ、剛直性の付与を実現しています。これにより世界で初めて有機インターポージャー単体での電気検査保証が可能になりました。信頼性がより高まり、インターポージャーの不良に起因するチップの廃棄ロス的大幅な削減に貢献することができます。

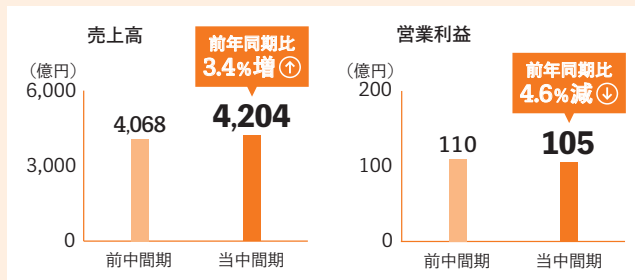
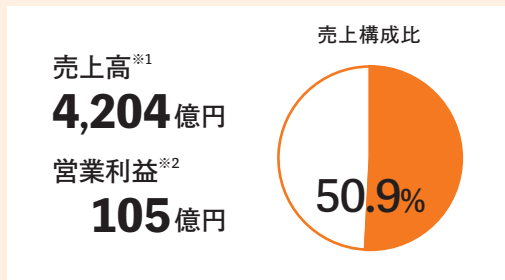
TOPPANは、本製品をデータセンター向けサーバーCPU、AIアクセラレーター向けなどの半導体パッケージ基板および有機インターポージャーへの採用をめざします。

※インターポージャー…貫通電極によって表裏の回路を電氣的に接続するために用いられる基板

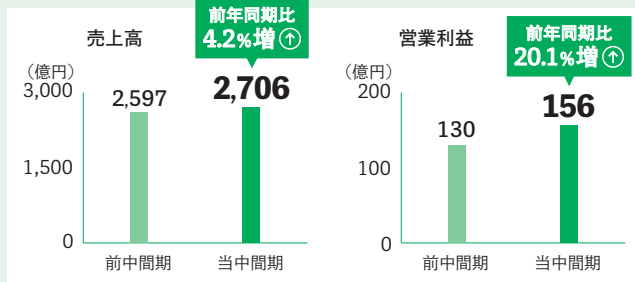
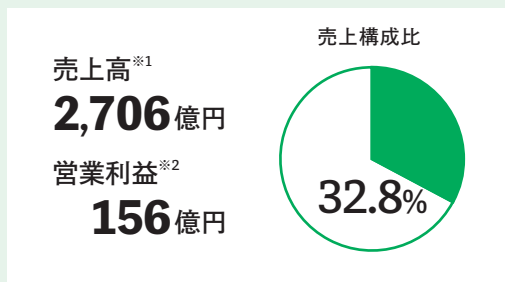


# セグメント別概況

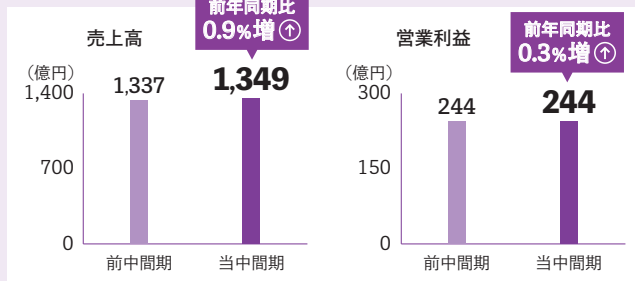
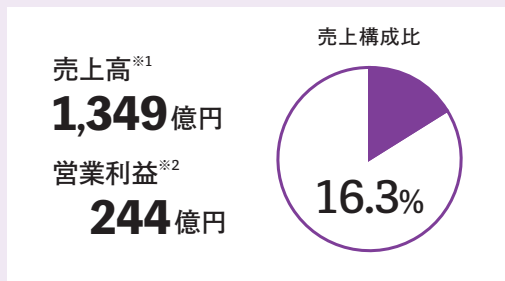
## ■ 情報コミュニケーション事業分野



## ■ 生活・産業事業分野



## ■ エレクトロニクス事業分野



※1 外部顧客への売上高 ※2 全社費用調整前の数値で計算しています。

デジタルビジネス関連では、デジタルセキュアや、グローバルセキュアが増加したことに加え、マーケティングDXが堅調に推移し、増収となりました。BPO関連では、金融・行政・公共インフラ分野を中心に案件を獲得しましたが、前年度の一過性案件の反動減があり、減収となりました。セキュアメディア関連では、データ・プリント・サービス、ICカード関連や海外ファイナンス印刷が増加し、増収となりました。以上の結果、情報コミュニケーション事業分野全体では増収減益となりました。



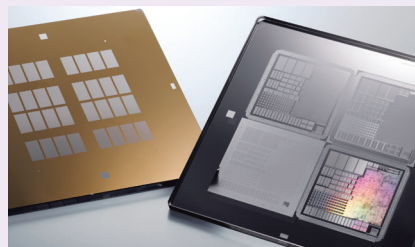
ICカード

パッケージ関連では、海外は食品向けを中心としたパッケージやバリアフィルムの販売が拡大し、増収となりました。一方、国内はSXパッケージ関連が拡大したものの、紙器における受注構成の見直しなどにより、減収となりました。建装材関連では、海外は家具向け化粧シートの拡販や新興国市場の開拓を進め、また国内は環境配慮型化粧シートや、空間演出ブランド「expace(エクスペース)」を拡販し、当事業全体で増収となりました。以上の結果、生活・産業事業分野全体では増収増益となりました。



GL BARRIER

半導体関連では、高密度半導体パッケージ基板のFC-BGAは、前年度下期を底とする市況低迷の影響が継続する中、フォトマスクは、アジアや欧州向けの堅調な需要に支えられ、当事業全体で増収となりました。ディスプレイ関連では、足元の市況は弱含みに推移する中、反射防止フィルムは、高付加価値品の需要を取り込み増加しましたが、TFT液晶パネルは、産業機器向けなどの需要が減少し、当事業全体では減収となりました。以上の結果、エレクトロニクス事業分野全体では増収増益となりました。



フォトマスク

# 株式情報

2024年9月30日現在

発行済株式数 318,706,240株  
株主数 38,290名

## 大株主

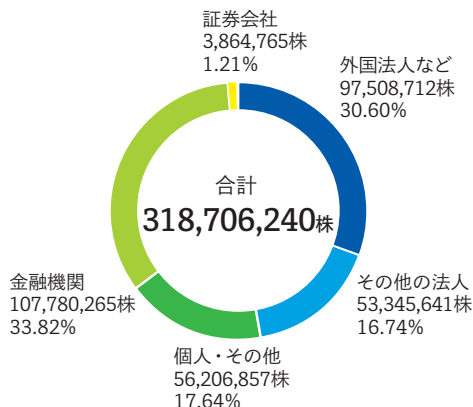
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	45,957	15.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	16,120	5.30
日本生命保険相互会社	15,002	4.93
artience株式会社	8,992	2.96
株式会社講談社	6,710	2.21
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505001	6,534	2.15
従業員持株会	5,725	1.88
TOPPANホールディングス取引先持株会	5,419	1.78
ジェイピーモルガンチェイスバンク380055	5,378	1.77
ステートストリートバンクウェストクライアントトリーティ505234	4,889	1.61

※自己株式は、上記大株主から除外しています。

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

なお、自己株式には、株式付与ESOP信託が保有する株式(1,885千株)を含んでおりません。

## 株式分布状況(所有者別)



※自己株式14,419千株は、「個人・その他」に含まれています。

# 会社概要

2024年9月30日現在

社名 TOPPANホールディングス株式会社  
本社事務所 〒112-8531  
東京都文京区水道1-3-3  
電話: 03-3835-5111(代表)  
URL: <https://www.holdings.toppan.com/jp/>  
会社設立 明治33年1月17日  
株式会社に組織変更 明治41年6月4日  
資本金 104,986,430,314円  
従業員数 連結 54,879名

## 取締役および監査役

代表取締役会長	金子真吾	社外取締役	遠山亮子
代表取締役社長	鷹秀晴	社外取締役	中林美恵子
代表取締役副社長執行役員	坂井和則	社外取締役	竹内明日香
取締役専務執行役員	齊藤昌典	常任監査役	萩原正敏
取締役専務執行役員	黒部隆	監査役	久保蘭到
取締役	添田秀樹	社外監査役	笠間治雄
		社外監査役	河戸光彦
		社外監査役	宮川由香

# 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
株主確定基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日  
中間配当を行う場合 9月30日  
その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
・お問い合わせ先 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)  
・郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

1単元の株式の数 100株  
公告の方法 電子公告により、当社ウェブサイト  
(<https://www.holdings.toppan.com/>)  
に掲載いたします。  
なお、やむを得ない事由により電子公告  
によることができない場合は、官報に掲載  
いたします。  
上場金融商品取引所 東京証券取引所 (プライム市場)  
証券コード 7911

## 〈株式に関するお手続きのご案内〉

お手続き・ご照会の内容	対象	お問い合わせ先
ご住所・お名前などの変更 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受取方法・振込先のご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ	証券会社に口座を開設されている株主さま 証券会社に口座を開設されていない株主さま (特別口座)	口座を開設されている証券会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送物の発送などに関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	すべての株主さま	

電子提供制度のご案内等、株式の事務手続きについては  
三菱UFJ信託銀行のウェブサイトをご覧ください。



電子提供制度専用ダイヤル  
電話 / 0120-696-505 (フリーダイヤル)  
受付時間 / 土・日・祝日を除く平日9:00～17:00

## Information

### ▶ 印刷博物館からのお知らせ

#### 開催中 地下1階展示室企画展 「写真植字の百年」

写真植字の登場は、デザインや印刷、出版業界に  
大きな変革をもたらしました。発明から100年を記念  
し、その歴史、役割、仕組み、さらには書体デザイン  
について紹介します。

会期 2024年9月21日(土)～2025年1月13日(月・祝)  
開館時間 10:00～18:00 (入場は17:30まで)  
休館日 毎週月曜日(ただし、2025年1月13日は開館)、12月28日～1月5日



#### 予告

- P&Pギャラリー「世界のブックデザイン2023-2024」  
会期: 12月14日(土)～2025年3月23日(日)

印刷博物館ウェブサイトURL <https://www.printing-museum.org/>

### ▶ 株主優待カレンダーについて

当社では、2024年3月末時点で5単元株(500株)以上をお持ち  
の方で、お申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを  
進呈しています。今回は「現代の芸術 日本絵画—横山大観」と題し、  
日本を代表する巨匠であり、特に富士山を  
題材にした数々の名画でも知られる横山大観  
の作品をお楽しみいただけるカレンダーを  
12月上旬にお届けする予定です。なお、  
万一、12月中旬を過ぎても届かない場合は、  
下記の電話番号までお問い合わせください。

電話番号 0120-108-194  
受付期間 2025年1月17日(金)まで  
受付時間 9:00～17:30(月～金曜日)

※土・日・祝日および年末年始(12/29～1/3)は除く。  
※メールでのお問い合わせは受け付けておりません。



2025年版株主優待カレンダー

## 表紙について 「可能性アートプロジェクト」の作品より

TOPPANは、障がい者によるアート作品の付加価値化で自立支援をめざす「可能性アートプロジェクト」の取り組みを進めています。株主通信の表紙の画像は、本プロジェクトからの作品を掲載いたします。



「ひいらぎ」

作者：錦織 幸夫

クリスマスの季節になるとリースやケーキなどの飾りでよく見かけるひいらぎ。魔除けの力がある縁起の良い植物といわれています。自分の家にもあったので、縁起物として描きました。

TOPPANホールディングス株式会社

<https://www.holdings.toppan.com/ja/>

